

JARL

香川クラブ報

No. 376 平成23年4月15日



J A 5 Y D E

クラブミーティングのご案内

暑さ寒さも彼岸までと昔から言われていますが気温も徐々に上がり、桜の花は今年も忘れずにほころび始めました。

玉藻公園東門からの夜間入場（１８時～２０時）での桜の馬場無料公開は４月１日より開始されています。でも今年は少し咲くのが遅いのでしょうか。

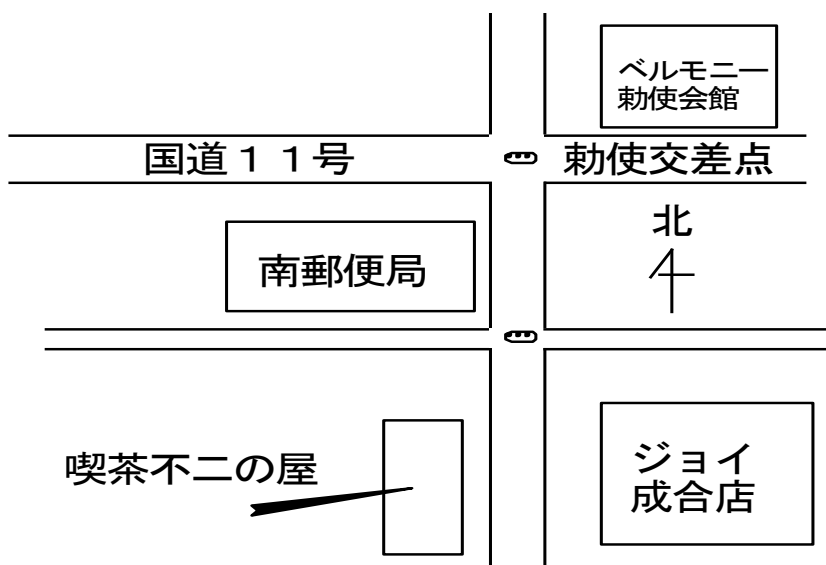
でも先日の東北・関東大震災の事を思いますと花見等で浮かれていると、皆様から大変なおしかりを受けるかも知れませんが、花見等で気持ちを切り替えていただいて復興・復旧に頑張ってもらいたいです。

我が故郷、讃岐は大きな災害も無く本当に有り難い事です。話は変わりまして年度事業計画に沿ってクラブミーティングを下記のとおり開催致したく、ご案内申し上げます。

お忙しい時期とは存じますが多数のご出席お願い申し上げます。

記

- 日時： ５月１７日（火） １９：３０から
場所： 喫茶不二の屋（成合町）
議題： １． 平成２３年度前期行事について
２． オールＪＡ５コンテストの参加について
３． 夏のフィールドミーティングについて
４． その他



平成 22 年度通常総会の報告

3月20日（日）13.00 から高松市成合町「喫茶 不二の屋」において JARL 香川クラブの 2 年度通常総会が開催されました。

三好会長の司会進行により、先ず開会宣言と会長挨拶があり、出席者 10 名、委任状 14 通の計 24 名の参加で総会成立となりました。

会長より平成 22 年度事業報告がありました。大きな事業として高松市市制施行 120 周年及び高松市趣味協会創立 30 周年記念の特別記念局「8 J 5 T A」を各クラブ員が持ち回りで運用しました。市制施行 120 周年をもじって、5, 120 局を達成したかったのですが、今回から採用した電子ログを集計するのに手間取り、電子ログの集計が出た時には運用の終了時の間近でした。それでも皆様方のご協力で 4, 987 局の交信を達成したことを報告し、お礼を申し上げますと会長からのお言葉を戴きました。



次に会計係の山口さんから平成 22 年度の会計報告が有りました。報告後、定款 16 条の会計監査は総会出席者全員により行うに基づき、全員一致の賛成で承認されました。

役員改選については、今年度は「全日本 ARDF 競技大会」という大きな行事あります。現在役員の皆様方が全日本 ARDF の準備委員会に参加をされていますので、ご苦勞ではありませんが、全日本 ARDF 競技会を成功させるために全員留任して頑張ってください。

平成 23 年度事業計画案が副会長の三木さんから報告がありました。今年度は前年度以上の大きな行事「全日本 ARDF 競技大会」が 10 月 29 日と 30 日の 2 日間開催されます。主催は JARL ですが実際の運営は JARL 香川県支部が担当しなければなりません。また、運営の主は JARL 香川が携わらなければならず、クラブ員の皆様にも重要なポスト等でご協力をあおがなければなりません。依頼があったときは気持ちよくお引き受け戴けるようお願いを申し上げたいと報告がありました。同時に 9 月 1 日から 10 月 30 日迄の期間で特別記念局「8 J 5 ARDF」が



運用されます。香川クラブとしても何日間は受け持たなければなりませんので、こちらも要請があればご協力をお願いします。

編集から毎回クラブ報の編集をするに当たり、寄稿記事が少なくクラブ報の作成に苦慮しています。よって今年度から全クラブ会員の皆様方に持ち回りで原稿の投稿をお願いしたいと思います。今回のクラブ報が届いたとき封筒の中に原稿の依頼書が同封されていた人は、次回クラブ報発行月の 5 日までに原稿を編集まで送付してください。記事のジャンルやページ数は問いません。会員の皆様方に喜んで頂けるクラブ報を発行したいと思っていますので是非ともご協力の程をお願い申し上げます。

出席者：JA5AHM/JA5TOP/JH5EZB/JH5LYW/JH5PMZ/JH5WMN/JE5PB0/JF5ICA/JI5VUZ/JI5XTP

委任状：JA5MG/JA5UY/JA5IJL/JA5IQP/JA5IRP/JA5PNI/JA5TFJ/JA5UVT/JH5EZC

JR5GL0/JF5MED/JG50BX/JG5RST/JI5SA0 (14 名)

平成 2 2 年度事業報告

平成 22 年

4 月 8 日	高松市趣味協会総会	参加者 3 名	コープ栗林
4 月 24 日 25 日	ALL J A コンテスト参加	交信局数 129 局	三谷町
5 月 13 日	J A 5 Y D E クラブミーティング	参加者 10 名	不二の屋
5 月 30 日	第 52 回 J A R L 通常総会		愛知県名古屋
6 月 20 日	ARDF 四国地方大会	参加者 選手 9 名	高知県芸西村の家
6 月 27 日	J A R L 香川県支部役員・クラブ代表者合同会議		国分寺青年センター
7 月 17 日 18 日	オール J A 5 コンテスト参加	交信局数 169 局 電信社団の部四国第 1 位	三谷町
7 月 24 日 25 日	焼肉パーティー&移動運用	参加者 10 名 交信局数 69 局	三谷町
9 月 2 日	J A 5 Y D E クラブミーティング	参加者 11 名	不二の屋
9 月 12 日	製作技術講習会 (C A L カウンター)	参加者 4 名	丸亀市栗熊研修センター
9 月 20 日	2010 かがわ ARDF 大会	参加者 7 名 スタッフ 9 名	三谷町
10 月 1 日 ～ 11 月 30 日	高松市市制施行 120 周年および ～高松市趣味協会創立 30 周年記念「8 J 5 T A」運用	運用局数 4,987 局	三谷町他
10 月 3 日	ARDF 関西地方大会	参加者 6 名	兵庫県加東市
10 月 10 日	高松市震災対策総合訓練	参加者 7 名	香西北町芝山マリンランド*
10 月 23 日 24 日	ARDF 全日本大会	参加者 3.5MHz 帯 3 名 145MHz 帯 6 名	長野県富士見町
11 月 7 日	ARDF 広島大会	参加者 5 名	広島県東広島市
11 月 11 日	J A 5 Y D E クラブミーティング	参加者 9 名	不二の屋
11 月 14 日	ARDF 北四国大会	参加者 選手 4 名 スタッフ 8 名	東かがわ市引田
11 月 21 日	J A R L 臨時総会 (一般法人移行決定)		大阪府寝屋川市
12 月 1 日 ～ 15 日	香川マラソンコンテスト	交信局数 274 局 社団の部第 2 位 (他に個人の部入賞者 3 名)	県内各地
12 月 26 日	J A 5 Y D E 忘年会	参加者 14 名	ぜにや

平成 23 年

3 月 6 日	ARDF 北宇和公認大会	参加者 6 名	愛媛県鬼北町
3 月 13 日	ハムフェスティバル i n 香川	クラブ活動展示	アレックス総合会館
3 月 20 日	クラブ通常総会	出席者 24 名 (内 14 名委任状)	不二の屋
3 月 27 日	ARDF 呉公認大会	参加者 5 名	広島県呉市

会 計 報 告

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度より繰越	144,708	クラブ報発行費	15,590
会 費	96,000	J A R L 会費	10,800
アワード発行収入	1,480	電波利用料	300
		無線局再免許申請料	1,950
		ログ帳	672
		通信費	2,070
		高松市趣味協会会費	6,000
		会議費	18,120
預金利息	23	ワイヤレス ミーティング 補助	20,825
		記念局 QSL カード 製作費	21,000
		記念局 QSL カード 印刷, 発送費	6,170
		残 金 (次年度に繰り越し)	138,714
合 計	242,211	合 計	242,211

上記のとおり報告します。

J A R L 香川クラブ会計係 J H 5 W M N

役 員 改 選

平成 2 2 年度		役職名	平成 2 3 年度	
コールサイン	氏 名		コールサイン	氏 名
JH5LYW	三 好 伸 幸	会 長	JH5LYW	三 好 伸 幸
JH5EZB	三 木 博 之	副会長	JH5EZB	三 木 博 之
JH5WMN	山 口 博 司	庶務・会計	JH5WMN	山 口 博 司
JA5AHM	天 野 英 弘	名誉会長	JA5AHM	天 野 英 弘
JA5TFJ	横 田 寿 夫	編 集 編 集 発 送 印 刷	JA5TFJ	横 田 寿 夫
JH5WMN	山 口 博 司		JH5WMN	山 口 博 司
J I 5 X T P	坂 内 信 洋		J I 5 X T P	坂 内 信 洋
JH5PMZ	多 田 敬 一	企 画 ・ 渉 外	JH5PMZ	多 田 敬 一
JE5PBO	岡 田 光		JE5PBO	岡 田 光
JF5ICA	向 井 勝 一		JF5ICA	向 井 勝 一
JG5OBX	丸 山 博		JG5OBX	丸 山 博
JA5 UY	長 尾 浩 孝	技 術	JA5 UY	長 尾 浩 孝
JA5 MG	稲 毛 章	賞 典	JA5 MG	稲 毛 章
JH5LYW	三 好 伸 幸	社 団 局	JH5LYW	三 好 伸 幸

全員留任となりました。

平成 2 3 年度事業計画（案）

平成 23 年

4 月 12 日	高松市趣味協会総会(栗林コープ)	高松市趣味協会
4 月 24 日	A R D F 審判員講習会（綾歌町コミュニティセンター）	J A R L 香川県支部
5 月 17 日	クラブミーティング（不二の屋）	J A 5 Y D E
5 月 22 日	四国地方 A R D F 競技大会（徳島県）	J A R L 四国地方本部
5 月 29 日	第 53 回 J A R L 通常総会(大阪府池田市)	J A R L
6 月 26 日	J A R L 香川県支部役員・クラブ代表者合同会議 全日本 A R D F 競技大会実行委員会	J A R L 香川県支部
7 月 16 日 17 日	A L L J A 5 コンテスト	J A R L 四国地方本部
7 月下旬	夏のフィールドミーティング・クラブミーティング	J A 5 Y D E
9 月上旬	クラブミーティング	J A 5 Y D E
10 月 29 日 30 日	A R D F 全日本大会（香川県東部）	J A R L
11 月上旬	高松市震災対策総合訓練	高松市
11 月 13 日	A R D F 北四国大会（愛媛県）	J A R L 香川県支部
11 月中旬	クラブミーティング	J A 5 Y D E
12 月 1 日 ～ 15 日	香川マラソンコンテスト	J A R L 香川県支部
12 月中旬	クラブ忘年会	J A 5 Y D E

平成 24 年

3 月 18 日	ハムフェスティバル i n 香川	J A R L 香川県支部
3 月下旬	クラブ通常総会	J A 5 Y D E

クラブ報（年 6 回）偶数月毎 15 日発行 第 376 号から第 381 号

上記事業計画に沿って、各行事に参加・協力して行く予定です。
クラブ員各位の積極的な参加をお願いいたします。

特に、本年は全日本 A R D F 競技大会が香川県において開催されます。
クラブ員各位には特に重責をお願いすることになりますがよろしくお願いします。

また、特別記念局「8 J 5 A R D F」も運用されますのでご協力をお願いします。

アワード発行状況

(H22/4～H23/3)

J A R L 香川クラブ 50 周年記念アワード	1	賞
S E T O 賞	3	賞
W A O / M M 賞	1	賞

J A R L 香川クラブでは、上記のアワード 3 賞を発行しています。
クラブ員はもちろんローカル各局に P R してアワードの発行にご協力ください。
わずかではありますが、発行収入もありますのでよろしくお願いします。

通常総会の委任状から近況報告

JA5 MG: JARL 四国地方本部会議と重なり出席できません。皆様によりきお伝えください。

JA5 UY: 自治会の行事と重なり欠席します。

アマチュア無線から少し遠ざかったかなということですかね。

JA5AHM: 高松市趣味協会 30 周年記念誌に 8J5TA のカードの写真を入りたいので 1 枚お願いします。

現在校正中ですが、間に合えばいいのですが。よろしく

JA5IQP: 毎度お世話になります。体調不良につき欠席させていただきます。

皆様によりき。

JA5IRP: 静かに遊んでいます。

JA5PNI: 又、今年も日曜日勤務となり出席できません。皆様によりきお伝えください。

JA5TFJ: 平素大変お世話になっています。何とか元気で細々電波を出しています。

甚だ勝手ですが、総会当日は連休で児童館の特別イベントを担当しており、止むを得ず欠席させて戴きます。よろしくお願い致します。

JA5TOP: H23. 3 末で退職を決めています。

JA5UVT: 3 月 20 日は J A R L 四国地方本部会議が有りますので、出席出来ません。

皆さんによりきお伝えください。

JG50BX: 今年は寒くて、雪が 2 回もふりました。25 年前にもふったとか。

次の 25 年先にはどうなっているでしょう。

J15SAO: 申し訳ありませんが、本年度は欠席させていただきます。

アマチュア無線をしている方がだんだん少なくなってきましたね。

若い方にどんどんアマチュア無線を楽しんで欲しいですね。

JH5EZC: 無線局免許状の期限切れになったので止めます。

長い間ありがとうございました。

JARL香川クラブ会員名簿

平成23年4月1日現在

	コールサイン	氏 名	住 所		コールサイン	氏 名	住 所
☆	J A 5 A A	久米 正雄			J H 5 B K C	細谷 正文	
	J A 5 C H	能祖 嘉吉			J H 5 E Z B	三木 博之	
	J A 5 D B	土居 憲吉			J H 5 L Y W	三好 伸幸	
	J A 5 M G	稲毛 章		*	J H 5 P R J	美智江	
*	J A 5 C S S	キミ子		*	J E 5 I K W	勝博	
	J A 5 U Y	長尾 浩孝		*	J H 5 P M Z	多田 敬一	
*	J A 5 D Z M	和子			J R 5 I K V	喜久子	
*	J R 5 G C R	祥弘			J H 5 W M N	山口 博司	
	J A 5 A H M	天野 英弘		*	J R 5 I F Q	幸子	
*	J A 5 C B F	己代子		*	J I 5 I Z J	浩平	
*	J G 5 C S G	伊知郎			J R 5 E H B	吉田 秀司	
	J A 5 E T K	佐藤 康弘			J R 5 G L O	谷本 清司	
*	J A 5 I M F	充子		*	J G 5 L Y Z	英彰	
*	J H 5 R Y G	弘			J E 5 B Y S	東原 正則	
*	J R 5 G C M	艶子		*	J E 5 U K D	明子	
	J A 5 I J L	林 廣次		*	J F 5 B J B	正和	
*	J F 5 P M A	美代子			J E 5 P B O	岡田 光	
*	J F 5 P M B	昌隆			J F 5 I C A	向井 勝一	
	J A 5 I Q P	合田口正春		*	J F 5 I C B	一恵	
*	J A 5 O I B	キヨ子			J F 5 M E D	山田 章登	
	J A 5 I R P	人見 和郎		*	J G 5 T J J	知子	
*	J A 5 O I A	人見 紘美			J G 5 O B X	丸山 博	
	J A 5 P N I	星野尾 力			J G 5 R S T	細川 和真	
	J A 5 T F J	横田 壽夫			J G 5 W T P	滝井 孝雄	
*	J H 5 D C W	ツヤ子		*	J I 5 V W S	太	
	J A 5 T O P	平賀 正明			J I 5 S A O	丸山 誠	
*	J H 5 U E Y	涼子			J I 5 V W A	三谷 さつき	
	J A 5 U V T	詫間 哲			J I 5 V U Z	市原 義博	
*	J J 5 C A E	富美子			J I 5 X T P	坂内 信洋	

☆：名誉会員

*：家族会員

* JARL主催コンテスト

第53回 (2011) A L L J Aコンテスト
4/30 (土) 21:00~5/1 (日) 21:00 まで

ARDF 競技大会の報告

北宇和ARDF競技大会(145MHz)

3月6日、愛媛県北宇和郡鬼北町三島グラウンドにおいて開催されました。

天気の様子の気まぐれか若しくは雨男か雨女がいるのでしょうか。

この会場に移ってからは殆どが雨の中での開催になっています。今回は細長い山の谷間をエリアにしており、反射波をうまく利用し、TX配置をしていました。またアップダウンが多く、各TXも奥深くに設置していたので各競技者も四苦八苦。1名だけ全TXを捕獲したものの、惜しくもタイムオーバーになっていました。近年に無いタフで難しいコースでした。

競技後は例年のごとく鬼北町特産の雉鍋と香川の参加者が持ち込んだ、さぬきうどんのコラボ鍋が競技者に振る舞われ、みんなが競技の疲れを忘れ昼食を堪能していました。



平成 23 年 3 月 6 日 (日) 鬼北町

天候 (曇りのち雨)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	今まで参加した大会で、ベスト3に入るほどタフなコース設定だった。 おまけに開会式から帰るまで、雨に祟られた。
M21	1 位	J F 5 M E D	1 時間 30 分 02 秒	4 個	
	4 位	J G 5 O B X	1 時間 47 分 13 秒	4 個	
	5 位	J H 5 L Y W	1 時間 48 分 21 秒	4 個	
M50	1 位	J G 5 W T P	1 時間 30 分 32 秒	3 個	
M60	1 位	J I 5 X T P	1 時間 17 分 16 秒	3 個	
	15 位	J A 5 U V T	1 時間 48 分 31 秒	2 個	

呉ARDF競技大会(145MHz)

平成 23 年 3 月 27 日 (日) 野呂山山頂

天候 (晴れのち雪)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	毎回の事ながら、タフなコース設定でした。 下界では晴天でも山頂は雪が舞っていました。
M 2 1	3 位	J F 5 M E D	1 時間 47 分 53 秒	2 個	
	4 位	J G 5 O B X	1 時間 41 分 00 秒	1 個	
	失格	J H 5 L Y W	時間超過	2 個	
M 5 0	1 位	J G 5 W T P	1 時間 43 分 00 秒	2 個	
M 6 0	失格	J A 5 U V T	時間超過	4 個	

* ARDF B級審判員講習会のご案内

日 時 : 4 月 24 日 (日) 13:00 から 17:00 (詳しくは J A R L 香川県支部HP 参照)

* 2011 四国地方ARDF競技大会 徳島大会のご案内

日 時 : 5 月 22 日 (日) 詳しくは J A R L 徳島県支部HP 参照)

東日本大震災

JH5LYW

2011年3月11日14時46分三陸沖を震源とした大地震で、関東から東北にかけて震度7の地震が2分あまり続いた。「東北地方太平洋沖地震」である。

日本ではまず無いと考えられていたマグニチュード9を記録し、死者・不明者は2万数千人に及んでいると聞いている。

あらためて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々にお見舞い申し上げ、そして一日も早い復興を願わずにはいられない。

今回の震災で、被害を大きくしたのは津波であり、一瞬のうちに大勢の命を奪った。現代の万里の長城と言われるほど、世界のスーパー堤防がいつも簡単に崩壊し、街によっては住民の半数以上が飲み込まれ、ありとあらゆる物が津波によって失われた。

また、最も危惧されていた原子力発電所が被災し、成す術も無く放射能をばら撒いている。決死の人たちの犠牲に支えられ、辛うじて被害を最小限に食い止めてはいるのだろうが、この先、子孫にどのような影響を与えるのか不安は拭えない。

いつも災害が起こる都度、天災だの、やれ想定外だのと責任逃れをする関係者。そしていつも犠牲になるのが、か弱き市民。

明治三陸沖地震、チリ沖地震、奥尻島地震など津波の怖さは十二分に知っていたであろう地域の人たちがその津波の犠牲になった。

「科学的根拠に基づいて」などと嘯いて、スーパー堤防を企画した人・作った人。原子力発電所を企画した人・作った人。そしてそれらを認め・許した政治家など等。

また、「喉元過ぎれば」の例えがあるが、それを無理矢理信じた人々。千年に一度有るか無いかの巨大地震が、そうした全てを飲み込んだ。

自然界の中で生かしてもらっている人間が、いかにも自分たちがコントロールしているかのように振る舞い、自然を冒し・神仏をも冒し続けてきたツケが、最近世界各国で起きている異常事態だと考えるのは的外れだろうか。

人間とは、かくも愚かな生き物かとつくづく考えさされる出来事だと思う。

「今更何を、起こったことは仕方ない」と言い切るにはあまりにも被害が甚大であり、日本という国を左右しかねない出来事であろう。

今、「私たちは何を成すべきであろう」と考えたとき、義捐金の協力、災害復興支援、被災者生活支援などのボランティアが上げられる。

しかし、今はそうした目に見える事はもちろんであるが、たとえそのようなことが起こらなくても普段から考え、身に付けておかなければならないことはたくさんある筈であると今更ながら考えさせられる。

幸い私たちはアマチュア無線を趣味としている。

携帯電話・インターネットが充実したといっても、所詮個人でコントロールできるものではない。その点、アマチュア無線はいつでもどこでも運用可能である。

自衛隊・警察・消防などは、素晴らしい能力を持った組織と通信方法を構築している。

が、彼等はどこにでもはいない。その点、アマチュア無線家はどこにでもいる。

他の通信・連絡手段に比べて全ての面で極めて柔軟である。

何かが起きた時、他の通信・連絡手段が構築される間だけでも、もしアマチュア無線が手元があれば、そのグループに一人でも無線機を持ったアマチュア無線家がいれば随分励みになるし、役に立つであろう。

しかし、たとえアマチュア無線家がいたとしても、普段から無線機器を持っていないとか、取り扱いがわからない、通信方法を知らないなどでは、宝の持ち腐れ。

有事に備えて、常に無線機器を手元に置き、その取り扱いを熟知し、そして迅速に的確に今の状況を発し、また逆に確実に受け取れる能力を養っておくことが重要でないかと考える。

そのためには、普段からアマチュア無線を運用し、たとえレポート交換だけでも良いし、ローカルラグチューでも良いから簡潔な通信を心がけ、聞く耳を養っておく必要があると思われる。

今回も、7.030MHz を中心に短波帯で非常通信網を構築し、情報の収集を行っておられたボランティアの方が大勢おられたが、私が受信していた限りでは感心するほどのオペレータはいなかったように思う。

送信している側は、電源がままならず、アンテナもまともではない中で必死に情報を伝えようとしているのに、受信側が理解する耳を養ってはず、必要以上に再送を促し、復唱を繰り返し、聞こえている別の局が中継しようとするのに聞く耳を待たず、やたら時間がかかり最後は尻切れ状態。

今回の大震災のさなか、どこかのクラブが災害でごった返しているある県庁を訪れ、アマチュア無線のボランティアを申し入れたのに断られたと憤慨していた。

何かが違うのではないと思う。幸い、JARL 香川クラブは高松市と非常通信に関する協約を結んでおり、副会長を中心に毎年震災総合対策訓練に参加し通信訓練を行っているし、行政側もアマチュア無線の必要性を理解していただいているので、いざとなれば素晴らしい活躍が出来るものと確信している。

また、ボランティアの趣旨・存在を考えたとき、今回のことだけに限らず本当にボランティアをと思うなら「自己完結型」でなければならないのではないだろうか。

常に、自分は何をすべきかを自分で考え、他の組織・活動の邪魔にならないように、一步ボランティアとして踏み出した時から自分に納得するまで、自分の命をも含めて全て自己責任で行うべきであると思う。

ボランティアまがいを押し売りして、意にそぐわなければ拗ねたり批判するなどを持つての他だと思う。

知り合いの息子さんが、自分の貯金を叩いて必要と思われる支援物資をライトバンに一杯積み込んで、被災 3 日目には石巻市のある避難所に駆けつけ、以後不眠不休で支援活動を続けておられると言う。

途中、被災者に必要な物資がどうしても手に入らないからと、一旦帰郷して親から借金をしてまで、必要物資を車に一杯積み込んでトンボ帰りで出かけて行ったそうである。

父親が神戸出身で、母親の里である高松へ移り住んだのは、阪神淡路大震災の前だから本人に被災経験は無いが「阪神淡路大震災のとき、親戚や友達がたくさんの人の善意で助けられた。だから今度は僕が行くんだ」と言って出かけたそうである。

本人は誰にも知らせず、家族もそれを吹聴する訳でなく行動を起こしている。

つい先日、石巻市長から高松市長にお礼の連絡があったと言うことで、始めて私もその善意を知ることが出来た。

いつも思うが、歳が若くても尊敬できる人がいる。

年輩で社会的地位があっても尊敬できない人も一杯いる。

いつも「この義捐金が本当に被災者に渡るのだろうか」と、疑問を持ちながらいたが、今回は迷わず義捐金を託す人が決まった。

危惧されて久しい南海沖地震が、いつ我々を襲うとも想像がつかないが「備えあれば憂いなし」。無線の運用も含めて、わが身と大切な家族、そして地域と仲間のことを常に考えておく必要があると思う。

今、「成すべき事」を私たち一人ひとりが考えなければならないのではないだろうか。

クラブ報の原稿案内及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。

原稿サイズ : B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送付先 : E-mail

Fax

郵送先

★★★ 新入会員募集中 ★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成 6 3 年目 (1948 年 10 月結成) になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

J A R L 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしています。免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。

また、平成 2 3 年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好 伸 幸
編 集 者	J A 5 T F J	横 田 寿 夫
	J H 5 W M N	山 口 博 司
	J I 5 X T P	坂 内 信 洋